

## 「教員のための博物館の日」の在り方に関する研究

宮崎科学技術館  
企画課 主査 原口 亜衣

**研究成果の概要：**宮崎で開催される「教員のための博物館の日」をよりレベルアップしたものにするため、他館の「教員のための博物館の日」視察及び、全国で開催される「教員のための博物館の日」について調査する。そこで明らかになった課題から内容や取組方法を再検討し、次年度に生かしていく。この取り組みにより、宮崎科学技術館において、学習利用での団体が増えれば、科学学習の拠点施設の役割を果たすことになる。

### 1. 研究の背景

平成14年度から「総合的な学習の時間」が導入されて以来、学校の中だけではなく、学びの場を広げる可能性の一つとして、学校側から博物館教育への期待が高まっている。また教科においても、「小学校学習指導要領・理科・第4学年（4）月と星」において、「プラネタリウムなどを積極的に活用することが考えられる。」と明記される等、学校と博物館の連携が推進されている。

当協会では、平成24年度に「授業に使える展示物—学校利用ガイドブック」を作成した。しかし、ガイドブック自体が認知されていないというのも現状である。

「教員のための博物館の日」は、博物館の学習資源をより多くの先生方に知ってもらうことを目的にしたイベントで、国立科学博物館において平成20年度から始まり、開催館が年々増えている。昨年度の開催館は、6ヶ所であったが、今年度は14ヶ所で行われ、先生のニーズに答える博物館の動きが全国的に見られる。

平成25年8月2日と3日に宮崎科学技術館（以下、当館）でも、「教員のための博物館の日」

を行った。九州で初めての開催であり、いくつかの課題も明らかになった。そこで、来年度の「教員のための博物館の日」のレベルアップのために、当館の課題を見直し、他館の取り組みを知ることが必要と考えた。

### 2. 研究目的

当館で開催した「教員のための博物館の日」におけるアンケートを集計し、教員が博物館へ求める内容や課題を把握する。

また、他館の「教員のための博物館の日」を視察したり、ホームページから情報収集を行うことで、全国の「教員のための博物館の日」の内容や取り組みについて調査する。

それらを明らかにし、宮崎で行う来年度の「教員のための博物館の日」がより充実したものにするための手立てにする。

### 3. 研究の方法

- (1) 当館の「教員のための博物館の日」のアンケート集計を行う。
- (2) 兵庫県立人と自然の博物館の「教員のための博物館の日」に参加する。
- (3) 全国の「教員のための博物館の日」の情報収集を行う。

## 4. 研究成果

### (1) 結果

#### ①当館の開催概要

九州地区では、初めての開催であった。ほぼ同じプログラムを2日間にわたって実施した。

#### ■日時

平成25年8月2日（金）・3日（土）  
9:00～16:30

#### ■内容

- ・講演会（プラネタリウム視聴含む）  
9:30～12:00
- ・展示ブース・体験ワークショップ  
13:00～16:00
- ・サイエンスバー（8月2日のみ）
- ・サイエンスカフェ（8月3日のみ）

■参加人数 146名

#### ■当日の様子

初任者研修や博物館実習生の参加があり、2日間で多くの参加者が訪れた。展示ブースは、9つ（表1）。参加者は随時、気になる展示ブースに参加した。

| 出展館                         | 出展内容                                |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| 天ヶ城歴史民俗資料館                  | 昔の道具体験                              |
| 大淀川学習館                      | 昆虫採集について                            |
| 国立科学博物館                     | 授業で使える学習用貸出標本<br>ペーパーモデルの紹介         |
| 西都原考古博物館                    | 授業に生かせる考古学                          |
| 佐土原歴史資料館                    | 神代独楽体験<br>佐土原歴史資料館の紹介等              |
| 宮崎科学技術館                     | ワークシートやクイズラリーで<br>宮崎科学技術館の活用再発見！    |
| 宮崎県総合博物館<br>(8月3日のみ)        | 「ミニ岩石標本」作製<br>「チリモン」講座<br>「押し葉標本」作製 |
| 宮崎大学農学部附属<br>農業博物館 (8月3日のみ) | 身近な土から<br>環境と農業と歴史を調べる              |
| みやざき歴史文化館                   | 昔のあそび体験！<br>竹とんぼ・うぐいす笛の製作           |

（表1）出展及び出展内容

#### ●サイエンスバー

（登壇者）国立科学博物館 事業推進部 学習企画・調整課長 小川義和氏

（内容）国立科学博物館のバックヤードの紹介や博物館と学校の連携について

#### ●サイエンスカフェ

（登壇者）宮崎大学 工学研究部電気電子工学科 淡野公一教授

（内容）宮崎の農業等に役立つ研究の紹介

通常の講演会とは異なり、質問しやすい雰囲気であったため、議論が深まり、参加者および博物館職員、大学教授の交流が図れた。



写真1 サイエンスバーの様子



写真2 サイエンスカフェの様子

## ●アンケート結果

「教員のための博物館の日」の感想として、とても良かった、まあまあ良かったと回答している参加者は、全体の 8 割以上であった。参加した先生方は、授業に活用する頻度が年に 1 回未満の方がほとんどであった。良かった点、期待と違った点について、自由記述とした。以下は、一部抜粋したものである。

### 【良かった点】

- ・博物館を授業に活用したいと思った。
- ・博物館との連携が少しずつ分かってきた。
- ・指導要領について、教員の人とは違う立場の方から関連をうかがうことができた。

### 【期待と違った点】

- ・理科教員の方には、大変ためになることであるが、他教科の教員にとっては、活用の仕方に悩む内容があった。
- ・もっと具体的に総合的な学習の時間への取り組み方や理科等のどの単元導入へ使えるかなども欲しい。
- ・もっとディスカッションできるような雰囲気があれば良かった。

## ②兵庫県立人と自然の博物館の開催概要

視察した兵庫県立人と自然の博物館では本年度、2 回目の実施。大学を巻き込んだ連携や博物館ボランティア組織から立ち上がった NPO 法人の参画が特徴である。

### ■日時

平成 25 年 8 月 22 日（木） 10:00～17:00

### ■内容

- ・フリートーク part1 13:00～13:30
- ・フリートーク part2 15:30～16:30
- ・ワークショップ 10:00～17:00

### ■参加人数 48 名（一般参加 311 名）

### ■当日の様子

教員よりも一般の方が多く参加していた。展示ブース数は、11（表 2）。すべてのブースで整理券を配布していた。

| 出展館                     | 出展内容                  |
|-------------------------|-----------------------|
| 兵庫県立<br>コウノトリの郷公園       | 生態系ってなに               |
| 多摩美術大学<br>神戸大学大学院       | Stamp On              |
| 神戸大学<br>附属中等教育学校        | ためして考えてみよう<br>…落ちる！科学 |
| 兵庫県立<br>淡路景観園芸学校        | ゲームで環境学習              |
| 三田市科学教育研究会              | 科学実験                  |
| NPO法人 人と自然の会            | ペーパークラフトで銅鐸作り         |
| 兵庫県立大学シミュレーション 科学研究科    | 生態学の<br>シミュレーション体験    |
| 兵庫県立<br>人と自然の博物館<br>研究員 | 体感・三角の力               |
|                         | 樹脂を使った標本づくり           |
|                         | 地学展示解説                |
| 兵庫県立人と自然の博物館 フロアスタッフ    | きょうりゅう骨パズル            |

（表2）出展館及び出展内容

実験ブースには、来館者も参加できるように、実験開始時間を表示してあるものがフロアに置いてあり、フロアスタッフも来館者に積極的に声かけをし、参加を促していた。

ブースの説明者は、教員向けの説明に加え家族向けの説明も行っていた。



写真3 展示ブースの様子①



写真4 展示ブースの様子②

### ③全国の「教員のための博物館の日」について

平成 25 年は全国 13 か所の地域で、「教員のための博物館の日」が開催された。「教員のための博物館の日 2013」実施報告(全国版)によると館の規模や設立主体、既存の資源などにより、テーマや手法などがさまざまであった。そこで、内容や出展機関に偏りがいないかを調べるために表を作成した。

#### ●開催日・プレ期間

教員の参加しやすい日ということで、多くの開催館が夏休み期間に設定していることがわかった。ほとんどの館の開催日は 1 日限定で行っており、当館のように 2 日間設定しているところは少なかった。また、島根県立三瓶自然館サヒメルは、プレ期間として、「教員のための博物館の日」の 4 日前から入館無料で招待している。国立科学博物館は、開催日の 1 週間前から、一部ブースを出展していた。

#### ●参加対象について

ポスターやホームページから、参加対象の教員の中に幼稚園・保育園の先生を含むところは、7 館であった。

#### ●出展機関

協力施設として動物園（水族館）よりも美術館が参加している館が多かった。図書館の出展は、国立科学博物館の 1 館のみであった。

視察先であった兵庫県立人と自然の博物館は、大学の参加があったが、そのほかの館では、表 3 を見ると、大学や研究所が出展している場合は少ないことが分かった。また、唯一ミュージアムパーク茨城県自然博物館だけが単独開催だった。

#### ●講演・出展数

ほとんどの開催場所で講演を行っており、基調講演や博学連携の事例紹介であった。

出展数は平均で 10 ぐらいだった。静岡科学館の出展ブースの内容を見ると、美術館だけでも 3 館の参加があり、全部で 18 のブースを出展していた。

#### ●整理券

視察先である兵庫県立人と自然の博物館の展示ブースでは、整理券を配布していたが、ほとんどの開催館が、実験・工作の開始時間前に並んでもらい、先着順に参加するという

|                     | 開催日     | プレ期間 | 幼・保<br>対象 | 出展機関    |    |         |          |     |     | 講演 | 出展数 | 整理券 | フリー<br>トーク | カフェ<br>&バー |   |   |
|---------------------|---------|------|-----------|---------|----|---------|----------|-----|-----|----|-----|-----|------------|------------|---|---|
|                     |         |      |           | 大学(研究所) | 企業 | 科学館・博物館 | 動物園(水族館) | 美術館 | 図書館 |    |     |     |            |            |   |   |
| 北海道                 |         |      |           |         |    |         |          |     |     |    |     |     |            |            |   |   |
| 帯広百年記念館             | 7/30    | ×    | ×         |         |    | ○       | ○        | ○   |     | 1  | 10  |     | ×          | ×          |   |   |
| 旭川市博物館              | 8/9     | ×    | ○         |         |    | ○       | ○        | ○   |     | 2  | 13  | ×   | ×          | ○          |   |   |
| 北海道開拓村              | 8/16    | ×    | ×         | ○       |    | ○       |          | ○   |     | 3  | 12  |     | ×          | ×          |   |   |
| 関東                  |         |      |           |         |    |         |          |     |     |    |     |     |            |            |   |   |
| ミュージアムパーク茨城県自然博物館   | 8/21    | ×    | ○         | 単独開催    |    |         |          |     |     | 0  | 11  | ×   | ×          | ×          |   |   |
| 国立科学博物館             | 8/23・24 | ○    | ○         |         |    |         |          | ○   | ○   | 0  | 6〜7 | ×   | ×          | ×          |   |   |
| 中部                  |         |      |           |         |    |         |          |     |     |    |     |     |            |            |   |   |
| 静岡科学館               | 9/27・29 | ×    | ○         |         |    | ○       | ○        | ○   |     | 4  | 4   | 18  | 18         | 要申込        | × | × |
| 浜松市博物館              | 5/18    | ×    | ×         |         |    | ○       | ○        |     |     | 0  | 7   |     |            | ×          | × | × |
| 豊南海浜水族館・豊南市青少年海の科学館 | 8/22    | ×    | ○         |         |    | ○       | ○        | ○   |     | 3  | 10  | ×   | ×          | ×          |   |   |
| 近畿                  |         |      |           |         |    |         |          |     |     |    |     |     |            |            |   |   |
| 兵庫県立人と自然の博物館        | 8/22    | ×    | ×         | ○       |    | ○       |          |     |     | 1  | 11  | ○   | ○          |            | × |   |
| 大阪市立自然史博物館          | 8/7     | ×    | ○         | ○       |    | ○       |          |     |     | 0  | 17  |     |            | ○          | × |   |
| 中国                  |         |      |           |         |    |         |          |     |     |    |     |     |            |            |   |   |
| 島根県立三瓶自然館サヒメル       | 8/21    | ○    | ○         |         |    | ○       |          |     |     | 0  | 6   | 要申込 |            | △          |   | △ |
| 四国                  |         |      |           |         |    |         |          |     |     |    |     |     |            |            |   |   |
| 徳島県立博物館             | 8/1     | ×    | ×         |         |    | ○       |          |     |     | 2  |     | 要申込 |            | ○          |   | × |
| 九州                  |         |      |           |         |    |         |          |     |     |    |     |     |            |            |   |   |
| 宮崎科学技術館             | 8/2・8/3 | ×    | ×         |         |    | ○       |          |     |     | 1  | 7   | 9   | ×          | ×          |   |   |

(表3) 全国の「教員のための博物館の日」比較

ものであった。また、「教員のための博物館の日」に参加を申し込む際に、どの展示ブースに参加するかの希望を出す会場もあった。

●フリートーク

出展ブースでの交流ではなく、参加教員全体と博物館職員との話す時間が設定されているかを調べた。兵庫県立人と自然の博物館では、教員がワークショップに参加する前後に2回、フリートークの時間があった。

●サイエンスバー・サイエンスカフェ

サイエンスバーを行ったのは、当館を含めて2館だけであった。島根県立三瓶自然館サヒメルは、サイエンスカフェとフリートークの両方の要素を持っていたため、表3では三角で示してある。サイエンスバーとサイエンスカフェを両方開催したのは、当館のみであったことが分かった。

●特典

どの開催館も教員が無料で参加できるので、これは特典に含んでいない。それ以外での特典があるものを調べた（表4）。

特典としては、協力施設の無料招待というものが多い。国立科学博物館のミュージアムショップの割引という特典は珍しい。

(2)考察

当館の「教員のための博物館の日」に参加した教員は、授業に活用する頻度は、年に1回未満の方がほとんどであった。今回の目的の一つである、博物館に親しんでもらったり、博物館が授業で使える学習資源であると認識してもらうためのイベントとしては、良かったと考えられる。しかし、学校と連携した具体的な事例を知りたかったという意見もあった。全国調査をすると、ブースごとに対象学年、教科を示しているところもあった。今後は、対象学年や教科また単元の表示などを行い、教員が学校と博物館・科学館の連携をイメージしやすい工夫が必要だと感じた。

兵庫県立人と自然の博物館の視察で、同じ「教員のための博物館の日」であっても、運営スタイルが異なることを体験できた。整理券を配布するというやり方は、ブース参加の

|                     | 開催日     | 特典                          |
|---------------------|---------|-----------------------------|
| 北海道                 |         |                             |
| 帯広百年記念館             | 7/30    | 7/30～8/4の期間中、協力施設は無料見学      |
| 旭川市博物館              | 8/9     | 8/9・8/10の両日、協力施設は無料見学       |
| 北海道開拓村              | 8/16    | 8/17・8/18の両日、協力施設、近隣施設は無料見学 |
| 関東                  |         |                             |
| ミュージアムパーク茨城県自然博物館   | 8/21    |                             |
| 国立科学博物館             | 8/23・24 | 国立科学博物館のミュージアムショップ商品10%OFF  |
| 中部                  |         |                             |
| 静岡科学館               | 9/27・29 | 静岡市美術館の企画展の無料招待券配付          |
| 浜松市博物館              | 5/18    |                             |
| 碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館 | 8/22    |                             |
| 近畿                  |         |                             |
| 兵庫県立人と自然の博物館        | 8/22    |                             |
| 大阪市立自然史博物館          | 8/7     |                             |
| 中国                  |         |                             |
| 島根県立三瓶自然館サヒメル       | 8/21    | 教員の方と同伴者1名を無料招待             |
| 四国                  |         |                             |
| 徳島県立博物館             | 8/1     |                             |
| 九州                  |         |                             |
| 宮崎科学技術館             | 8/2・8/3 |                             |

(表4) 全国の「教員のための博物館の日」における特典比較



混乱を防ぐ手段の一つとして考えられるが、その一方で途中から参加しにくい雰囲気であるように感じた。また、設備上の問題になるが、一つの会場に一つのブースというよりも、広い会場にたくさんのブースが並んでいる方が、にぎやかな雰囲気でたくさんの交流が生まれるのではないかと考える。

今回、当館は、対象を教員または教員を目指す学生とした。来年度は、幼稚園・保育園の先生方も対象にすることで、もっとさまざまな先生方に当館のことを知っていただけるのではないと思う。

アンケートを見ると、プラネタリウムの番組や当館の事業に関する誤解をしている方がいた。ブースだけではなく、教員と博物館・科学館職員とが意見交換できる時間があれば、その場で誤解を解くことができたのかもしれない。教員が求める内容や博物館・科学館職員ができることをディスカッションする時間を設定した方が、より教員と博物館・科学館をつなぐことができ、また、既存の学習資源改善のヒントを得る機会にもなる。このヒントが、当協会が作成した「授業に使える展示物—学校利用ガイドブック」をより授業で利用しやすいものへの見直しにもつながるだろう。

今後、「教員のための博物館の日」を継続する上で重要なことは、「教員のための博物館の日」の実施後、学習利用目的の団体が増えたかどうかの調査を行い、さらに内容の検討を行うことである。この企画の参加対象が教員と絞られているので、回数を重ねるごとにマンネリ化する恐れがある。そのため様々な工夫を講じる必要がある。今後、分野の壁を越えて、さまざまな博物館、もしくは地元の企業などが協力して取り組むことが求められる

だろう。

## 5. 参考資料

- (1)兵庫県立人と自然の博物館編『みんなで楽しむ新しい博物館のころみ』研成社 2012
- (2)「教員のための博物館の日：国立科学博物館」  
<http://www.kahaku.go.jp/learning/leader/mdayt/>（参照日：2013/9/1）
- (3)「教員のための博物館の日 2013」実施報告（全国版）